

令和6年度第2回住吉区区政会議

1 日時：令和6年9月5日（木） 午後6時30分～午後8時36分

（午後7時01分～午後8時の間は区政会議を中断し、グループディスカッションを実施）

2 場所：住吉区役所4階 大会議室

3 出席者

委員：岩根麻琴委員、河嶋利彦委員、栗野由佳委員、齋木進太郎委員、菅原正二委員、田中貞夫委員、谷山圭子委員、辻野けんま委員、豊嶋貴子委員、中野薫委員、仲本房司委員、東美智代委員、福留千佳委員、梶野隆平委員

区役所：橘隆義（区長）、樋口幸生（副区長）、田中斉（総務課長）、中野泰裕（政策推進課長）、柏木眞里子（教育文化課長）、小林資明（地域課長）、山尾貴彦（住民情報課長）、山本且之（保険年金課長）、小西宏樹（保健福祉課長）、福田利明（保健子育て担当課長）、友田桐子（保健主幹）、稲岡訓規（生活支援課長）、谷畑学（政策推進課長代理）

4 議題等

（1）報告事項

- ・令和6年度第1回住吉区防災専門会議について
- ・令和6年度第1回住吉区地域福祉専門会議について

（2）グループディスカッション

（テーマ）

- ・様々な世代の方々が参加しやすいこれからの地域活動について
- ・多様な団体と連携したイベントの開催とその効果的な広報について
- ・見守りや子育てがしやすいコミュニティづくりについて

5 発言者及び発言内容は以下の通り

【谷畑（司会）】 それでは、大変お待たせいたしました。ただいまより、令和6年度第2回住吉区区政会議を開催いたします。

本日はお忙しい中、住吉区区政会議にご出席をいただき、ありがとうございます。本日、

司会を務めさせていただきます政策推進課長代理の谷畑でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、開催に当たりまして、住吉区長の橘よりご挨拶を申し上げます。

【橘区長】 皆様、こんばんは。区長の橘でございます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また、夜の遅い時間から区政会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、辻野議長におかれましては、ドイツ留学から帰国後、間もない中でのご出席、本当にありがとうございます。本日は大阪公立大学の学生の皆様にもご参加をいただいております。貴重な夏休みの中、お越しいたき、本当にありがとうございます。後ほど、委員の皆様と共にグループ討議を行っていただくこととしておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本日の流れでございますが、まず、今年度で開催いたしました防災、福祉、それぞれの専門会議のご報告をさせていただいた後、ただいま申しあげましたグループ討議をテーマ別に3班に分かれてご議論いただくこととしてございます。委員の皆様、そして学生の皆様には、忌憚のないご意見を賜りたいというふうに思っておりますので、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

【谷畑（司会）】 それでは、会議を始めるに当たりまして、皆様方をお願いがございます。この区政会議は、条例に基づく会議となっております。後日、会議録等を公開いたします関係上、録音並びに写真撮影をさせていただきます。また、大阪市ではデジタルツールを最大限活用した区政会議の推進の取組の1つとして、区政会議の様子を動画配信にて公開するウェブ傍聴の実現をめざしております。今回の区政会議についてはライブ配信を行っており、会議終了後は録画配信を行います。なお、個人のプライバシーに関することや、個人に対する中傷的な発言など、そのまま配信することが妥当でないと判断した場合には、会議終了後、動画の編集を行い、発言を修正、削除して会議録を作成することがあります。傍聴の皆様には、受付でお渡しいたしました遵守事項をお守りいただきますようお願いいたします。

続きまして、市会議員の皆様におかれましては、条例第8条第1項に、区政会議における議論に資するために必要な助言をすることができると規定されております。

本日お見えになられている市会議員を紹介させていただきます。

井上議員でございます。

【井上議員】 皆様、お疲れさまでございます。

【谷畑（司会）】 中田議員でございます。

【中田議員】 皆さん、こんばんは。お疲れさまでございます。

【谷畑（司会）】 上田議員でございます。

【上田議員】 どうも、皆さん、こんばんは。よろしくお願いいたします。

【谷畑（司会）】 なお、本日、くばた議員はウェブによりご参加されております。よろしくお願いいたします。

また、条例第8条第2項に、区長は必要があると認めるときは関係者の区政会議への出席を求め、その意見を聞くことができると規定されており、本日は大阪公立大学の学生さんにお越しいただいております。後ほど実施するグループディスカッションでご意見をお伺いしますので、よろしくお願いいたします。

次に、令和6年6月1日付で区政会議委員の交代がございましたので、報告させていただきます。

一般社団法人大阪市住吉区医師会の白木委員に代わり、権藤委員です。なお、本日、権藤委員におかれましては所用により欠席されております。

ここで、本日の委員の出席状況ですが、委員定数24名のところ、現在12名にご出席いただいております。条例第7条による定足数であります定数の2分の1以上を満たしていることを報告させていただきます。

それでは、以降の区政会議の議事進行を辻野議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【辻野議長】 皆さん、こんばんは。前回区政会議のときにはオンラインになりまして、ちょっとご不便をおかけしましたがけれども、再び対面でお会いできましてうれしく思います。本日もどうかよろしくお願いいたします。

それでは、本日の進め方を説明させていただきます。まず、報告事項として、各種専門会議について関係課長から報告させていただきます。次に、皆さんに3つのグループに分かれていただきまして、今、既にご着座いただいておりますけれども、大阪公立大学の学生さんと共に意見交換を行っていただきます。前半はフォーマルにきちっと、報告事項等がありますので、大阪公立大学の学生さんは区政会議とはこういうものだというのを見ていただきつつ、その雰囲気のままグループに行く必要はないので、グループに行ったときには忌憚なく何でも発言いただいたり質問いただいたり、たくさん質問されると思いますけれども、学生の皆さんとお話をする機会というのはそんなに多くないので、皆さんへ

の関心が高いんじゃないかなと思います。また後で、グループで意見交換されてください。

続きまして、本日の資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただいてます資料の右上に番号をつけております。資料としては①から⑥までで、本日の配付資料として、机上に資料⑦と令和6年度第2回住吉区区政会議グループディスカッション名簿を置いています。資料⑥ですけれども、7月5日開催の第1回区政会議で委員の皆様方からいただいたご意見やその対応、ご感想等をまとめたものを配付させていただいております。ご一読、ご確認のほどよろしくお願いいたします。毎回貴重なご意見のほど、ありがとうございます。また、区役所の方からも丁寧に回答いただいておりますので、お読みいただければありがたいと思います。ちょっと早口になりましたけれども、資料の不足等はないでしょうか。ありましたら挙手などしていただけたらと思います。よろしいでしょうか。また、もし進めていく中で不足資料に気づかれましたら、その都度、お声かけいただけたらと思います。

それでは、本日の会議は20時30分までを予定しています。円滑に進行していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

まずは報告事項の1点目からです。区役所から説明をお願いいたします。

【小林地域課長】 地域課長の小林です。日頃からお世話になり、ありがとうございます。

私のほうから、報告事項1点目、令和6年度第1回住吉区防災専門会議について報告いたします。

配付資料③をご覧ください。

1点目、日時は、令和6年7月3日に開催させていただきました。

真ん中、6番、議事要旨をご覧ください。

報告事項の1点目といたしまして、令和5年度第3回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針についてでございます。

訓練参加者は毎年同じ人が多いため、アンケート結果には偏りがある。質問事項を変更してはどうかという意見がございました。アンケート内容を再検討するとともに、今後、より多くの区民に参加いただけるよう効果的な周知方法を検討していく旨、ご説明させていただきました。

アンケート項目につきまして、新規の訓練参加者を増やすにはどんな取組が効果的か、次回の訓練はどんな内容で行いたいのか、災害時、自分にできることは何だかと思うかなど、

アンケート項目を設けてはどうかという意見がございました。また、一時避難場所でもアンケートを配布してはどうかという意見がございました。

次に、避難所におけるアレルギー対策について、避難所内ではアレルギー表示を行うほか、平時から非常用持ち出し品としてアレルギー治療薬を持参いただくよう啓発に取り組む旨説明させていただきました。

次に、小学生や中学生に対して防災学習の時間を設けることはできないかという意見につきまして、区役所といたしまして、職場体験や土曜授業等を通じて協力させていただく旨、ご説明をさせていただきました。

裏面をご覧ください。

報告事項２点目といたしまして、災害時地域協力事業所の取組についてでございます。

災害時に地域貢献していただける区内の事業所等を対象に、災害時地域協力事業所を募集しておるところでございます。地域の防災訓練等にその方々も参加していただくなど、地域での災害対応力の強化につなげていけるように取り組んでいく旨、ご説明させていただきました。

次に、議題の１つ目でございます。令和６年度防災の取組について、大和川氾濫等の水害に備えた取組や配備予定物資など、全９項目についてご説明をさせていただきました。

汚物処理セットにつきましては、現在、各避難所に１,６００セット配備させていただいておりますけれども、避難者が多ければ１日にも満たない量しかない状況でございます。追加配備を検討しているのかという意見に対しまして、避難者数掛ける１日５回分を目安に追加配備の準備をさせていただいているところでございます。

また、自助の必要性について、より広く周知する必要があるという意見がございました。

議題の２点目といたしまして、令和６年度住吉区総合防災訓練について、１１月９日に実施させていただくことや訓練内容（案）についてご説明をさせていただきました。

その中で、ＭＣＡ無線での通信訓練がうまくいかないというようなご意見もいただきまして、令和４年度より配備しておりますタブレット等を活用し、ＬＩＮＥなど多様な手段で連絡が取れるよう訓練に取り入れていく旨、説明をさせていただきました。

以上でございます。

【小西保健福祉課長】 続きまして、保健福祉課長の小西です。

私からは、報告事項２点目、令和６年度第１回住吉区地域福祉専門会議について報告いたします。

配付資料④をご覧ください。

令和6年6月6日に開催いたしました。

4の議題をご覧ください。

報告事項としては3点、住吉区地域見守り支援システムの進捗状況について、地域座談会の開催状況について、住吉区地域包括支援センター運営協議会報告について、報告いたしました。

議事としては3点、「住吉区地域福祉ビジョンVer.3.0」（案）におけるパブリックコメント実施結果について、「住吉区地域福祉ビジョン」実現に向けた地域座談会の推進について、グループワーク、テーマ「地域福祉ビジョンVer.3.0」において重点的に取り組むべきことということで行いました。

5点目の議事要旨をご覧ください。

まず、ビジョン改訂に当たり行ったパブリックコメントの実施結果については、ご意見をいただきましたけれども、ビジョンを修正するまでに至らなかったという判断のために、地域福祉ビジョンVer.3.0として公表していくとさせていただきました。

地域座談会の推進について、委員からご意見をいただいております。

主な意見としましては、子どもたちが集まれるイベントをやっていききたい。また、子どもや子育て世代が集える場が必要と考えている。

裏面をご覧ください。4行目にありますが、地域座談会については、ビジョンを具現化するためには必要なプロセスと認識していると。今年度も地域座談会を進めていくということに関して、積極的に関わっていききたいというご意見をいただきました。

グループワークにつきましては、主な委員意見としては、まず、担い手不足について、担い手を増やすというところで何か仕掛けはないか。みんなの居場所として学校をどう活用するか。不登校の子どもさんの様々な相談に乗ってもらえるようなところがあるべきではないか。京都の道に名前があるように、住吉区も各通りにみんなで名前をつけたらどうか。「ゆるやかなつながり」のための具体的な取組についてもご意見をいただきました。地域福祉づくり、つながりづくりを進めるに当たり、一般の人の意見を吸い上げて見える形にして、実感を持ってもらうことが大切。地域福祉については、スポーツ、文化活動などの取組を学校園と連携して進めていけたら。子どもの登下校時に高齢者が植木に水やりをしたり外出して見守るようなことが、地域のつながりづくりに有効ではないか。子どもたちにこのまちが好きか聞いて、自分たちの住んでいるこのまちのことを考えてもらうこと

が、地域福祉を考える一歩になるかもしれないというご意見をいただきました。

以上でございます。

【辻野議長】 ありがとうございます。

それでは、報告事項だったんですけれども、これについて質疑を行いたいと思います。
本日はグループの中では自由に着座いただいていますので、ご発言のときにお名前をおっしゃってからお願いいたします。

それでは、質問、ご意見等ある方、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。よろしいでしょうかね。もしかしたら早くグループに入りたいというふうにあるかもしれませんが、そしたらよろしいですか。ご意見、ご質問等はよろしいようですので、では、次に行かせていただきます。ありがとうございます。毎回同じなんですけども、もし、ご意見等が後ほど浮かんできた方がいらっしゃいましたら、区役所のほうにも連絡いただいても結構ですし、私のほうにお声がけいただいても区役所のほうに報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、委員の皆さんに意見交換をこれから行っていただきます。学生の皆さん、区役所職員の皆さんはグループの席へ移動をお願いいたします。

最初に区役所のほうから進行について説明いただいたり、前回の議論を受けて少し進展などもあったようなので、それも含めて最初にイントロダクションさせていただいてからお話に入っていただきたいと思います。

まず、毎回、グループのときに同様ではあるんですけれども、各グループの進行役となるファシリテーター役と書記役、発表役は今回も区役所の職員さんをお願いしています。

これから意見交換を行っていただく前に、区役所のほうから簡単に説明をお願いしたいと思います。

【中野政策推進課長】 政策推進課長の中野でございます。

私から皆さんに、意見交換していただく内容について説明をさせていただきます。

配付資料の⑤と⑦をご覧ください。

まず、資料⑤ですが、住吉区将来ビジョンにも掲げておりますとおり、地域コミュニティや福祉の充実、子育て世代・若者への支援など、様々な課題解決に向けた取組を実施しております。そこで今回は、様々な現場で日々ご活動されている区政会議委員の皆さん、また、大阪公立大学の学生の皆さんに、「すみよいまち “えーとこ住吉”」の実現に向けたアイデア出しを行っていただきます。

今回はAからCの3つのグループで、事前に委員の皆様にご提出いただいたアンケートを基に、区役所にて各グループの討議テーマを設定いたしました。

まず、Aグループは「様々な世代の方々が参加しやすいこれからの地域活動について」、Bグループは「多様な団体と連携したイベントの開催とその効果的な広報について」、Cグループは「見守りや子育てがしやすいコミュニティづくりについて」をテーマに意見交換していただきますが、事前に委員の皆様方からいただいたご意見を資料にまとめたものを記載しておりますので、ご参考にいただければと思います。

次に、配付資料⑦ですが、意見交換を行うに当たって、今回参加いただいている学生さんにも今回の討議テーマに対する事前アンケートをさせていただき、いただいたご意見をまとめております。

グループディスカッションでは、委員の皆さんと学生さんたちの事前意見等も参考にしながら、皆さんでアイデアを出し合ってくださいと思います。なお、意見交換の際は、実現可能性とかそういったことはちょっと置いておいてもらって、また、他者の意見への批判というのは厳禁で、自由な発想でアイデアを出していただきたいと思います。

始めるに当たって、学生の方々も特に緊張もされていることだと思いますので、グループの中で、最初のアイスブレイクも兼ねて自己紹介してもらってから始めていただければと思います。各グループに区役所職員が入っておりますので、進行役、記録係、発表と進めさせていただきます。

それでは、これから意見交換を始めていただくのですけれども、その前に少しお時間をいただきまして、今年3月の令和5年度第4回区政会議で大阪公立大学の学生さんに参加していただき、このグループ討議を行いました。そこでの意見交換をきっかけとして地域商店街と学生さんとのつながりができ、現在も連携が継続しているという事例がございます。せっかくこういった機会ですから、谷山委員から、学生さんとの連携した取組についてご紹介、ご報告をいただきたいと思います。谷山委員、よろしくお願いいたします。

【谷山委員】 私は公募委員の谷山と申します。すみません、ちょっと緊張するので、原稿を作ってきましたので、読むのをご了承くださいませ。

御堂筋線あびこ駅上がってすぐ、マクドナルドから東方向にあるスギ薬局に伸びている、通称あびんこ商店街の組合の事務局に勤めております。

今年3月7日の区政会議で、「これからの地域活動について」をテーマに意見交換がありました。その際、同じグループの公立大生のご意見から、やはり積極的にSNSを活用し

て若い層にアピールしていく必要性を感じまして、この春からあびんこ商店街の公式LINEを作りました。以前から作らないといけないというのはあったんですけども、大きく背中を押していただいた形となっております。抽せん会や夏の夜店の無料クーポンを発行して、お友だちも増えつつあります。特に夜店の無料クーポンはかなりの効果がありまして、1日で200、300と増えました。インスタやユーチューブはこれから取り組む予定となっております。準備中です。

その夜店では、大阪公立大学のボランティアセンターを通じまして、学生さん6名にアルバイトに来ていただきました。たくさんの屋台を出しますので人がどうしても必要で、お願いしたところ、元気のある学生さんが来てくださいました。大変暑い中だったんですけども、子どもたちに元気に明るく対応していただき、商店街もとても助かりました。

また、近畿経済局主催の「商店街・まちづくり×ブランディング」ワークショップというものに、大阪府下4つの商店街が参加するんですけども、この商店街、その中の1つに手を挙げさせていただきまして、商店街の店主だけでなく、いろんな方が参加してもいいよということでしたので、まずは公立大学の学生さん、興味ないかなと思ってちょっとお声をかけさせていただきましたところ、今のところ3名の方が興味を示してくださいまして、共に参加することとなりました。こちらに関しては、ご興味のある方がいらっしゃいましたら、チラシとかリーフレットがありますのでお渡しさせていただきたいと思います。

このように区政会議でいただいたご縁を大切に、今後も学生さんだけではなく、地域の方々、また、各種団体の方々とのつながりをより一層深めまして、地域の発展につながる活気ある活動をこれからもしていきたいと思っております。

ありがとうございました。(拍手)

【中野政策推進課長】 谷山委員、ありがとうございました。

では、この後、グループ討議へと進んでいただきます。司会のほうから、また、ご連絡よろしくお願いします。

【谷畑(司会)】 それでは、これより区政会議を一旦中断いたしまして、20時まで意見交換を行っていただきます。また、終了5分前にアナウンスをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

(グループディスカッション)

【谷畑(司会)】 それでは、すみません、お話がまだ続いていることとは思いますが

ども、お時間となりましたので、意見交換は終了となります。区政会議を再開しますので、議長と学生の皆さん、区役所職員の皆さんは元の座席にお戻りください。

それでは、辻野議長、議事の進行をお願いします。

【辻野議長】 皆さん、グループの意見交換ありがとうございました。毎回ながら時間がやっぱり足りないぐらいに充実した議論になったのかなというふうに思うんですけども、前回よりも時間を取っていただいたので、少し深めたりとかということができたのかなというところがあるかと思います。

せっくなので、グループごとに少しダイジェストなところを共有させていただけたらと思います。各グループで意見交換していただいた内容を、発表役の職員の方をお願いできればと思います。Aグループから報告をお願いしますでしょうか。

【稲岡生活支援課長】 生活支援課長の稲岡でございます。私からAグループで意見交換した内容を報告させていただきます。

本当にたくさんご意見いただきました。本当に最後のほうまで、時間目いっぱいまでお話しさせていただいたところです。

まず最初は、やはり話しやすい雰囲気からということで、自己紹介と好きな食べ物から入らせていただきました。そういったところで皆さん和気あいあいといえますか、和やかな雰囲気になったのかなというところです。

まず、一番最初にお話しさせていただきましたのは、地域活動に参加するにはというお話から入っていたんですけども、若い学生さんのほうからのご意見も、緩く参加できる雰囲気であるとか、集まれる場所、あとは、ちょっと学生が参加しにくいのではないかなというご意見もございました。ただ、こういったことについては、学校のボランティアと連携するでありますとか、大学の授業として参加するという方法もあるのではないかなというご意見も頂戴しております。

あと、PTAの関係する役員の方からもお話しいただいたところでいきますと、PTA自身が子どもを相手にしているというところもあって、なかなか大学生の方のご意見を聞ける機会というのではないから、興味があるのではないのかなというようなお話もいただきました。

PTAそのもののハードルが高くて、そこから地域の活動となると、ちょっとハードルが高いのかなというご意見も頂戴しております。

あとは、親が地域活動に参加しているところを見ると、自分も頑張ってみようとい

うようなご意見もございました。

あと、コロナ禍でいろいろ外出する機会が減ったというところもあるんでしょうけど、やはり高齢の方も外に出られる機会というのが必要ではないかというようなことと、あと、地域の祭りに学校に参加してもらったという部分がありました。

地域としては壁をつくっているつもりはないけども、なかなか今までのやり方を変えるというのも難しくて、いろいろ苦労はしているんですけどというようなところも、本当にご意見として、そうだなというところで私も共感したところがございます。

あと、若い人がもっと会議に参加することができれば、もっと面白いのではないかなというお話の中で、ちょっとそこから地域の魅力の部分というお話に入りました。住吉区でもいろいろ地域の魅力、図書館であるとか、区内にも桜の花がいっぱい咲いているところであるとか、自転車で回るといろんな区内の魅力というのが見えてくるのではないかなと。あと、住吉区では大学が区内にあるというのも魅力ではないかと。あと、成人式等の企画についても、もっと地元で参加されるという部分も大学生の方から聞いておるんですけども、その企画そのものを大学生、参加される方がしているというのもご意見として頂戴しております。

いろいろとそういうご意見もいただいたんですけども、まとめという部分になったのかどうかはあるんですが、まずはまちづくりというのをゲームの世界でやってみても面白いのではないかなと。そういうゲームの中でいろいろ理想であったりとか夢というのも語り合いながら、当然そういう意見を出し合うのも大事ですし、それがもし一つでも現実になれば、若い人というのがもっと興味を持っていろいろ参加してもらえんじゃないかなというようなご意見をいただいています。

最後に、ちょっと余談かもしれませんが、住吉区の住みます芸人に頑張ってもらいましょうかというようなところも面白く聞かせていただいたところです。

すみません、簡単ではありますが、Aグループの報告でございました。ありがとうございます。

【辻野議長】 ありがとうございます。

Bグループのほうの報告をお願いいたします。

【田中総務課長】 すみません、総務課長の田中です。私のほうからBグループの発表をさせていただきます。

テーマ、「多様な団体と連携したイベントの開催とその効果的な広報について」というこ

とで、いろいろご意見をいただいたところです。

まず、このグループには商店街の関係の方もいらっしやいまして、一番最初に話題になったのは商店街と学生との連携という部分で、既に公立大学の学生さんに協力していただいたというような取組も先ほどあったと思うんですけども、ボランティアセンター、そこに仲介をしていただいたということで、それで学生さんのほうから、学生は4年間で卒業することで入れ替わるんですけども、ボランティアセンターというのは常に杉本キャンパスにもありますので、そこはうまく活用すれば、これからもボランティアが集まるのではないかなというようにお話が出たのと、あと、学生さんからのご意見で、大学生だけではなく中高生に協力してもらうのもよいのではないかなということで、事前にご意見をいただいていた部分については、特に高校生については今、課題研究ということで、これは学習指導要領にも位置づけられているんですけども、そういったところの研究の一環として何かしてもらえればというようなことで、そういったところは高校生にも需要があるんじゃないかなというようにご意見が出ていました。

あと、商店街への学生の呼び込みというところで話がその後続いたんですけども、杉本キャンパスというのはすぐ近くに杉本町の駅があるということで、そのまま天王寺に出られてしまうということで、なかなかあびこのほうまで来られることが少ないと。もちろん徒歩圏内ではあるんですけども、なかなか動線としては入ってこないというようなところで、あびこ周辺に呼び込むのであれば、大学内あるいは杉本町側で宣伝をするというようなことが必要ではないかと。そのことによって、あびこ側にも学生が流れてくるんじゃないかなというようにところを学生さんからおっしゃっていただいたということと、それに関連して、学生さんは飲食店に関してやっぱり値引きというのに弱いので、そういった宣伝をすればいいのではないかなというところと、SNSですね、学生さん活用されるんですけども、それだけではなくて、アナログ、チラシ、そういった、例えば杉本町側で割引クーポンとかお店の写真を載せたようなチラシを配ったら、やっぱり目につくんじゃないかなというようにところで、SNSについては食べログとか話が出たんですけども、「飲食店」と検索しても本当にたくさん出てきますので、なかなか自分が欲しい情報が取れないというようにところもあるので、アナログというのもやっぱり必要ではないかなというようにご意見が出ました。

あと、またイベントの話になりまして、あびんこ商店街のほうでも夏の夜店とかワンコイン市でやられているということで、町会にも広がればいいなというところで、学生さん

のほうから紹介があったのは、公立大学の中百舌鳥キャンパスでは既に地域とかなり連携して、例えば大学祭に地域の方が出店されるというようなことを既にやられているということで、杉本キャンパスの構造上いろいろ制約がある部分はあるんですけども、そういったところで大学祭との連携というところで、例えば商店街の方が大学祭のほうに来ていただいて、そこでブースを出していろんな宣伝をすれば、またそれによって商店街のほうにも人が流れるんじゃないかというようなところが言われていました。

あと、商店街では飲食だけではなくて物販をされているという、もちろんそういったお店もあるんですけども、なかなか、学生さんにとっては値段を気にされるということで、今、アマゾンですぐ安い物が手に入るということなので、そこでアマゾンではできないようなこと、例えば何かしらの体験会をやるとか、オーダーメイドで何か作れるというような、そういったものを付け加えれば、商店街で物を買ってもらえるんじゃないかというようなことが言われていました。

あびんこ商店街は本当に活気があって、可能性があるんじゃないかということで、地元の人にとっては毎日住んでおられて当たり前なことでも、外の方から見るとやっぱり新鮮なこともあるということで、そういった意味では可能性があるんじゃないかというようなお話もありました。

あと、広報というところなんですけども、行政情報があまり知られていないというような話が出て、なかなか広報紙も若い方には見られていないというようなところで、ここでもちょっとまた、学生さんから枚方市の事例というのを紹介いただきました。枚方では、民間が運営されているんですけども、「枚方つーしん」というニュースサイトがあるということで、地元の本当にささいな情報を流されているということで、例えばどこどこに新しいお店ができたとか、このコンビニが潰れたので、その後にc h o k o Z A Pができたとか、そういった本当にささいな情報を流されているということで、そういったコンテンツが参考になるんじゃないかというようなお話もしていただきました。

あと、やはり人の目につくというところが非常に大事だということで、ディスプレイすね、例えばそういったものを駅とか大学に置いて、商店街なんかの情報を動画で流すというようなこともすれば、目につくんんじゃないかというようなお話がありました。

それと、区のホームページについて、学生さんは見はりますかという話になったんですけども、ごみのこととか、自分に用事がないとなかなか見る機会がないということと、役所のホームページというのはいろんな情報が書かれていて、埋もれてしまっているという

ことで、提供する側の視点で作られているという部分があるので、なかなか見たい人が自分の必要な情報を見つけることができないというようなところで、見たい側の視点に立って、検索しやすいような作りというものをやってはどうかということで、そういったところで学生の意見も聞いてもらえればいいんじゃないかということで、実際、公立大学の文学部では学部紹介というのを、パンフレットですけど、学生が作っておられるというようなこともやられていますので、そういったところで大学とも連携していただければいいんじゃないかというようなお話もしました。

Bグループの報告は以上になります。

【辻野議長】 ありがとうございました。

Cグループの報告をお願いいたします。

【小西保健福祉課長】 Cグループの報告をさせていただきます。保健福祉課長、小西でございます。

Cグループでは、「見守りや子育てがしやすいコミュニティづくり」について話し合いました。

最初に、子育てサロンのご紹介をいただきました。長居小学校で月1回開催されていて、参加者が非常に多くて、大体毎回15組ぐらい参加されているということで、つながりたいというお母様方がたくさん来てくださっていると。LINEも使って周知をされているところ、ちょっと新しいところというふうなお話もありました。

それについて、地域の子ども食堂でも大体月1回か2回というところなんですけれども、もうちょっと回数を増やせないかなというご意見もありまして、それに対しては、回数を増やすとスタッフの問題がある、いわゆる担い手問題ということで、そこはなかなか難しいというようなお話もありました。

次に、ボッチャのお話が出ました。区老連で月2回、ボッチャの練習をされていると。また、地域に戻っても月1回の練習をされているということで、高齢者主体ですけれども、つながりづくりということで非常に楽しくやってくさっていると。室内でできるというのも大きいと。これが誰でもできる、障がいをお持ちの方でも子どもさんでもできるということで、住吉区では各小学校にボッチャのセットを区から配付させていただいて、各小学校でもボッチャの取組をやってくさっているんですけれども、子どもさんも非常に喜んでいる、楽しんでいるということで、高齢者でも子どもさんでも楽しめる、共通に楽しめるということで、誰でも参加できるような、そういう取組もできたらいいのではないかと

というようなお話になりました。

また、町会主催でも、ボッチャであったりとか、新しいスポーツでモルックというスポーツがあるそうなんですけど、そういったものを、要は誰でもできるスポーツを取り入れて取組をされているというようなお話もいただきました。

次に、地域と大学のボランティアセンターとのつながりということで、地域とボランティアセンターがつながることで、例えば小学校、中学校で先生方がクラブ活動を指導するものもなかなか大変だということで、そこに地域の方が参加するとか、そういったこともっと積極的にできればいいんじゃないかとか、あと、大学で学生さんが主体で、教育福祉ということで、知的障がい者の方を対象に公開講座のようなものを月1回やってくださっているということで、そういった公開講座にも地域の方から講師も来ていただいているということで、大学でもそういう地域との交流もあるというお話もありました。

それで、地域から例えば大学のボランティアセンターにつながるにはどうしたらいいのかというようなご質問もあって、大学に連絡していただければというようなことでお話がありました。

例えば、その中で、担い手を増やすにはどうしたらいいのかという、またお話が出てきて、経験上、PTAの役員をしたら次は女性部というようなことで、地域の役員さんも顔と名前を知っている、つながりがある人にやっぱり声をかけるというのは一定仕方がないというところもあるんですけども、実際やってみたら、大変というよりは楽しく取り組めるというところもあるので、そういう魅力を発信するというのも大事ではないかということと、それから、やはりつながりが減っていくと先細りをしていくということになるので、これからはつながりのない人、これまでつながりがなかった人をどう巻き込んでいくのかと、そういうことも考えていかないといけないのではないかなというようなご意見もありました。

あるいは運営の仕方を変えていく。今の地域団体の運営の仕方から、例えば手上げ方式にする、あるいは緩やかな感じで取組をやっていくとか、そういったことも進めていったらいいんじゃないかと。例えばあるPTAでは、最近は月1回集まるというのはもうやめて、できるだけ集まる回数を減らしていると。そういう取組をやってはるところもあると。

あと、若い人の気持ちをちょっと緩い感じで、しなやかなというんでしょうか、そういった若い人の気持ちも運営に取り入れていくということも必要なんじゃないかと。大学でもそれでうまくいっているし、ある小学校のPTAでもそれでうまくいっていると。要は

自分が楽しめる、役員が自ら楽しめるということをやっぱり目標にしていけないといけないのではないかなということも言われていました。

大学でも、ボランティアさん、興味のあることにだけ参加するというような取組でも全然構わないし、それでもちゃんと回っているというお話もありました。

つながりの大切さが分かれば、人は自然とつながっていくのではないかという、そういったご意見もいただきました。

それと、eスポーツについてもちょっとお話が出まして、子どもでも大人でも高齢者でも参加できると、そういったことも大切な取組として進めていったらいいんじゃないかというようなご意見と、ITが苦手な人も情報を取りやすい仕組みというものもつくっていったらいいんじゃないかというようなことも言われていました。

あと、例えば子育てサロンでも、地域が月1回やってくださっているんだけど、同じようなことをやりたい人がやるというような仕組み、さっきの手上げ方式のようなことももっと進めていけないのかなというようなお話もありました。

そういったことで、大人が楽しんでそういう取組を地域でやっていけば、将来、子どもたちもそれを見て、自分たちもやろうというふうに思えるのではないかなというふうなお話もありました。

地方というか、住吉区ではない出身の方がいらっしゃって、いずれはそこにまた戻りたい。なぜ戻りたいかという、そこは人間関係が非常によかった。なので、自分もいずれは自分のふるさとに戻って、そこで貢献したいと、そういうお話も出ました。

そういう取組をしていく上で、やはり場所の問題というのは非常に大事なことになるってきて、例えば空き家をもっと有効に活用できないのかなとか、地域の集会所をもっと活用できないのかなというふうなお話も出てきましたし、あと、そういった取組の中に企業も、いろんな団体も巻き込んでいけばいいんじゃないかというふうなお話も出ました。

役所のスタンスとしては、やはりきっかけづくり、後方支援で、実際に動くのは地域の人というのがやはりいいのではないかというふうなお話も出ました。

以上です。

【辻野議長】 ありがとうございました。

難しいところをコンパクトにまとめていただいて、恐らくグループごとにさらに具体的なアイデアがたくさん出たと思いますので、記録もしていただいていますので、また、それを深めていく機会にできればなというふうに思っています。

せつくなので、皆さんほうからもし補足とか、ちょっとここは今聞いていてさらに加えたいということがありましたら、あるいは意見、質問等も含めてで結構ですし、本日の区政会議全体に関してでも結構です。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

お時間をご配慮いただきまして、ありがとうございます。もしいろいろとご意見ありましたら寄せていただけたらと思いますので、ぜひ、引き受けて次につなげていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

本日の議案はこれで全て終了いたしました。

それでは、他の事項に入りたいと思います。区役所より説明をお願いいたします。

【谷畑（司会）】 では、辻野議長、委員の皆様、学生の皆様、どうもありがとうございます。ありがとうございました。

それでは、その他の事項につきまして、私から説明申し上げます。

令和6年度第3回住吉区区政会議は、当初、令和7年1月9日を予定しておりましたが、令和7年1月30日木曜日に変更になりましたので、ご予定をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和6年度第2回住吉区防災専門会議は令和6年10月2日水曜日、令和6年度第2回住吉区地域福祉専門会議は令和6年10月31日木曜日、令和6年度第2回住吉区総合教育会議は令和6年12月19日木曜日開催予定です。

以上でございます。

それでは、ここで、本日ご出席いただいております議員様より一言をお願いいたします。

では、初めに、井上議員、よろしくお願いいたします。

【井上議員】 本日は、区政委員の皆さん、また職員の皆さん、そして、今日は公立大学の学生の皆さんも長時間、大変お疲れさまでございました。9月12日から秋の決算審査も含めた議会が始まりますので、今日賜りました貴重なご意見の数々、しっかり議会の議論の中にも生かしていきたいというふうに思っております。

私、Cグループの議論を聞かせていただいたんですけれども、やっぱり担い手の問題、そして場所問題、ここに集約されるのかなというふうに思った次第です。

担い手という点では、私も経験してきたんですけれども、地域の子どもの会の役員もずっとやっていたんですけれども、今、休止中です。活動がもう休止してしまっているという状況なんですね。季節ごとの行事ぐらいしかやっていなかったんです、夏祭りとクリスマス会と、年末夜警と。だけど、それさえも担い手がいなくて、今、休止中というような状況

になっています。

ですから、これは永遠のテーマでありまして、ウルトラCはないと思いますので、やっぱり知恵出しの会議を続けていかなければ自然消滅してしまうなというふうに私自身も経験してまいりましたので、これは中心になる方がしんどい思いしてやるというのは続かなくなって、消滅していつてしまいますので、中心になる方々、担い手の方々が意欲を持って楽しんでできるような状況というのを、やっぱりこれは知恵出しの中でしか生まれてこないのかなと改めて感じた次第です。

それから場所の問題も、子育て世代に向けたサークルのようなものをやりたいというときに、場所がなかなか見つからない、地域にないという問題があると思います。私も産前産後ケアのサークルの皆さんから相談を受けたことがあります。育児ノイローゼとかそういうことのケアサポートをしようという団体、バランスボールを使って、親子で、私もやりましたけど、非常に気持ちいいんですけれども、そういうのを使って集まりをやりたんだという相談を。だけど、場所がないということで相談を受けたことがあります。長居の地域で探しておられたので、すぐ、会館の鍵の管理をされている臨南町会の会長さんに相談したら、すぐ話がとんとん拍子で進んで、実は長居の連合会館では、いろんな子育てサークルの皆さんはじめ、使っているということが分かりまして、そこでもつながりができたようであります。

議論を聞いていて思いましたのは、やっぱりどこにどういう場所があるのか、使える場所があるのかという情報があまりにも少な過ぎるということを私も自らの経験から感じておりますので、その点は非常に課題だというふうに思っております。マッチングができれば一番いいんでしょうけれども、しかし、これは本当にこれからの検討課題ではないかなと思います。

その点では、子ども・子育てプラザがもうちょっとセンター的な役割、その調整役も含めて、相談役も含めて、もうちょっとあそこの機能、でも、委託事業になってしまっていますから限界があると思うんですけれども、もうちょっとあそこをセンター的な位置づけにして、行政もちろん関わりながら、何かそういう相談に気軽に乗れるような場所になれへんかなと、これはずっと私が子どもが小さいときから感じてきた、問題意識として持ってきたことでありますので、ぜひそれは一度ご検討いただければなというふうに思います。

ちょっと長くなりましたけれども、以上でございます。ありがとうございました。

【谷畑（司会）】 それでは、中田議員、よろしくお願いいたします。

【中田議員】 皆様、お疲れさまでございました。委員の皆様、また、区役所の職員の方、また、公立大学の学生の皆さん、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

私のほうからは、意見を拝聴して、私がこれはできるできないも当然あるんですけど、そういったお話をちょっとさせていただきたいと思います。

まず、橘区長が来られて、住吉区に入られてちょうど6か月ですか、半年。ちょうどいいタイミングでありますし、また、今日、活発なご議論、やっぱり公立大学の学生さんが来られた会議体になると皆さんいろんな意見が出て、活発な議論をされているなと感じました。

そういったタイミングで、個々のそれぞれの皆さんの今日出た課題解決手法であったり、いろんなことがあるんですけど、まず、区役所の橘区長じゃないですけど、何か思い切って斬新な、住吉を変えるんだという、例えばポスターを作って貼り出すとか、これは当然ちょっと難しいと思いますが、ユーチューブライブで住吉区の区長と職員の方、また、例えば学生さんとかが入って発信するとか、そんなことをすれば、いいこともあり、悪いこともあるかもしれませんが、バズって、いや、やっぱり住吉って橘区長になったら変わるんやとかいうような、ちょうどそういうタイミングで発信したらどうかなというのを私自身はちょっと思いました。いろんな意見があって、対応も大変になるかもしれませんが、やっぱり今日の皆さんのお話を聞いていると、それぐらいの覚悟を決めて進めていくというのがまずは大事な事じゃないかなと思いました。

あとは、今日も学生さん入っておられてあれですけど、委員の方が集まるこの会議体の時間、やっぱり遅い時刻になりますよね。皆さんお仕事もありますし、ご予約もあるので。できたらもうちょっと早い時間にするとということもあるんですけど、会議体の前にいわゆる若い方々に参加していただくような会議体を取って、そこで意見を吸い上げて、ここの会議体に持ってきて、それをまたぶつけ合って会議をするというような手法も、アンケートで意見は言ってくるんですけど、実際、じゃ、意見はどうだったんだというような、そんなやり方も考えられたら、もっともっと何か深掘りできるような取組ができるんじゃないかなと思います。

できたら本当はここにもそういった方々に入っていていただいて、直接若い人の声を聞く、子育て世代で困っている人の声を聞く、誰を選任するかって難しいことになると思いますし、大変なことになると思うんですけど、そういった会議体にして進めていけば、区長も

住吉を変える、この会議体ももっと活発になって変える、問題が一つ一つ解決していくんじゃないかなというのを、率直に今日のディスカッションを聞かせていただいて思ったところでございます。

私も話が長くなりましたが、やっぱり今こそ住吉は変わるんやというようなスタンスというか、ファイティングポーズを持ってやっていけば、区長が市長から怒られるかもしれませんが、予算も必要なこともあると思うんですが、それぐらいの気構えでやっていったらどうかなと思います。

私、議員ですし、そういうことがあれば協力できることは積極的に協力もさせていただきますし、やっぱり今こそ変えていくときじゃないかなと思いますので、そんなことを勝手に僕、言うてるのであれですけど、そういった感想を意見として言わせていただきました。今日はどうもありがとうございました。お疲れさまでございました。

【谷畑（司会）】 ありがとうございます。

それでは、ウェブでご参加いただいていたくばた議員もありがとうございます。

最後に、区長より一言お願いいたします。

【橘区長】 本当に長時間、今日は活発なご意見をいただけて本当にうれしく思っておりますし、本当、皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございます。

3班に分かれてディスカッションしていただいたわけで、1つのところでじっくり皆さんのご意見を聞いたわけではないんですけれども、率直に感じたところをまず申しあげますと、やはり今、中田議員もおっしゃいましたけれども、ふだんの区政会議とは違って、非常に委員の皆様の表情が柔らかく、非常に笑顔もちょっと出ていたのではないかな。そういうことからしますと、やはり今日お越しいただいた公立大学の皆さんのおかげでもありますし、一方で、本当に堂々とした意見を皆さんおっしゃっていただいたことによって、委員の皆さんにおかれてもいろんな気づき、アイデアを頂戴させていただいたのではないかなというふうにも思っています。

正直、僕も40年前に市役所に入りまして、夜、大阪市立大学の夜学に通わせていただいていた。その当時の自分の学生ぶりと皆さんの今日の発言、堂々としたお姿を見ると、もう全然違うなと非常に恥ずかしくなったところでもありましたですけれども、一方で、本当にこういう学生さんが公立大学にいらっしゃるんだなということで、頼もしくも感じたところであります。本当にありがとうございました。

議長もおっしゃいましたけれども、今日いただいたご意見、すみません、先ほども申し

あげましたが、僕は直接お聞きしていません。それぞれの担当課長が発言もさせていただきましたけれども、もう一度改めて、今日の発言の皆さんの内容を僕自身もう1回確認させていただき、本当に今後、住吉区が掲げております将来ビジョン、その実現に向けた中で何か参考にさせていただいて、取組に加えさせていただきたいというふうに思っています。

今日はいつもと違うような形で皆さんからご意見をいただき、本当にありがたかったなと思いますし、また引き続き、ご意見を、お力添えを賜ればというふうに思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後に、中田議員がおっしゃっていただきました住吉を変える。確かに非常に住吉区、いい区役所だなど、この6か月間、皆さんにお世話になりながら感じているところです。地域の方々もやはり情熱を持って行事事なり活動いただいているというのは、本当に地域にお邪魔させていただいたときにすごく肌で感じてきたところでもあります。

ただ、すみません、そんなに僕、ビジュアル的といいます、皆さんに見えていただけるような場面に出るというのが非常に性格上、ちょっと弱っちゃうところがありますので、ただ、ほかの区からこの分野については、こういうことについては絶対負けない、ほかの区のモデルになれるというようなところ、何かの形でこの任期4年間で出していきたいというふうに思っていますので、なかなか画面で登場とかそういうところからはちょっと苦手でございますけれども、議員がおっしゃったようなところのことについては、できるだけそのご意見に沿えるように努力していきたいというふうに思っています。

本日は、本当に長時間ありがとうございました。また、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。話が長くなって申し訳ありません。今後ともよろしくお願いいたします。

以上です。

【谷畑（司会）】 これで本日の会議は終了いたしました。

委員の皆様には、円滑な会議進行にご協力いただき、ありがとうございました。これで第2回区政会議を終了いたします。本日は長時間にわたり、皆様どうもありがとうございました。

また、区政会議に関するアンケートを本日ご記入いただいた委員におかれましては、お帰りの際に受付の職員にお渡しください。ありがとうございました。

—— 了 ——